

RI 核医学(RI)検査

核医学検査(アイソトープ検査)をお受けになる皆さんへ

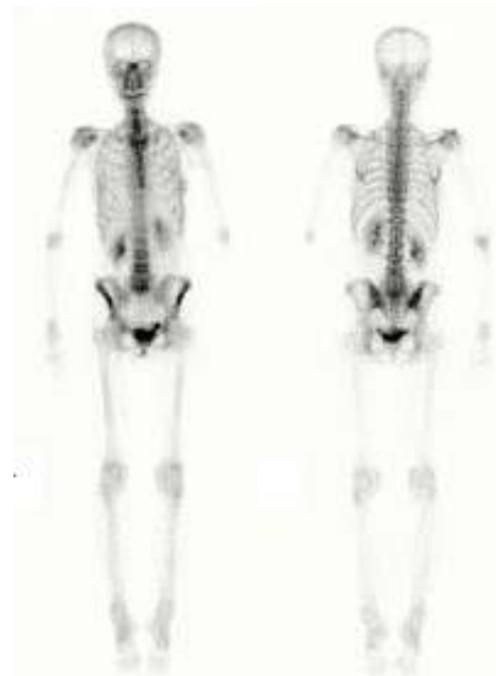
骨の検査 (骨シンチグラフィ)

○核医学検査(RI 検査)とは？

RI 検査とは、ガンマ線という放射線を放出する検査薬を注射し、臓器や病変部に取り込まれた検査薬から放出される微量のガンマ線をカメラで撮影し、体内の情報を得る検査です。投与される検査薬から放出される放射線は極めて微量で、副作用も心配ありません。検査薬は、速やかに自然な排泄作用によって、体から除去されます。

○骨の検査・骨シンチグラフィとは？

骨シンチグラフィは骨シンチとも略され、核医学(RI)検査の中でもよく行われる検査です。X線検査がとくに骨の形を見るのに適しているのに比べて、この検査では、骨の形には、変化がみられない病変や骨折などを写し出すことができるのが特徴です。骨の代謝が盛んな部分によく取り込まれる放射性医薬品を注射し、そこから出る放射線を検出器(カメラ)でとらえて全身の骨の異常を調べます。



○検査前と検査終了後の注意点は？

食事や飲み物の制限はありませんので直前の食事がかまいません。
また検査前後も普段どおりお過ごし下さい。

検査の方法と流れ

1. 検査薬を静脈注射します。
(1.5ccから2.0ccのわずかな量です。)
- ↓
2. 検査薬が全身の骨に取り込まれるまで**約3時間待ちます。**
この間はご自由にお過ごし下さい。
- ↓
3. 検査開始の直前にトイレに行って排尿します。
尿に検査薬が含まれていますので、衣服に付着しないようご注意ください。
(付着したまま検査を行うと骨盤周囲が見えづらくなります。)
- ↓
4. 検査衣に更衣して、検査ベッドに横になります。
撮影の間は、リラックスして動かないようにしましょう。
検査時間は30分～40分です。



妊娠中、妊娠の可能性のある女性、授乳中や乳幼児がいる方はあらかじめ医師にお知らせ下さい。

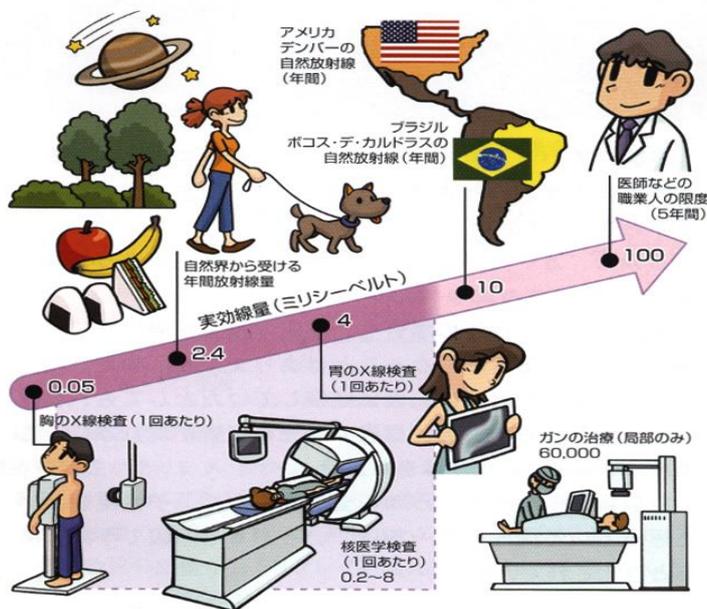
骨シンチについての疑問を解決します

Q. RI 検査薬品の副作用はないの？

A. 放射線の検査の中で CT 検査に用いられる検査薬で造影剤というものがあります。この造影剤の量は 100cc 前後で、0.5%～1%の人に副作用が発生します。骨シンチに使われる検査薬品の量は 1.5～2cc と CT 検査の造影剤量の 50 分の 1 程度です。このわずかな量で副作用が現れることはほとんどありません。日本アイソトープ協会による平成 27 年度の報告では 29 万件検査を行って、わずか 5 件 (0.002%) しか起こっていません。万が一副作用が起こってしまった場合、迅速かつ最善の処置を行いますので安心して検査を受けられてください。

Q. 被ばくはどれだけの？

A. 病院の検査で受ける被ばく以外にも、右の図にあるように普通に生活しているだけでも被ばくを受けます。核医学検査では検査の種類によって 0.2～8 ミリシーベルトの被ばくを受けます。骨シンチでは 2 ミリシーベルト程度の被ばくとなります。1 年間普通に生活しているだけで自然界から受ける被ばくが 2.4 ミリシーベルトなのでどれだけ安全な検査かお分かりいただけるとと思います。



Q. 被ばくが少ないことはわかったけど、少しでも被ばくを減らすことはできないの？

A. 骨シンチでは骨に取り込まれなかった薬は尿とともに膀胱に集まります。検査前、検査後も頻回にトイレに行き不必要なお薬を尿とともに出してください。水分をこまめに摂っていただくとより効果的です。

Q. なぜ検査直前にトイレに行かなければならないの？

A. 骨に取り込まれなかったお薬は尿とともに膀胱に集まります。尿をしないで撮影すると下にある写真のようになり骨盤内の情報が得られないことがあります。その他わずかに薬が集まった場所では膀胱内に信号が取られ見えにくくなってしまいますので、できるだけ検査直前にトイレに行ってくださいようお願いしています。

